第21講　国際社会への復帰と高度成長
PART2 55年体制

Chapter 1　55年体制の開始と安保改定

目標
保守合同について知ろう。
60年安保闘争が盛り上がった背景を知ろう。

1　55年体制の開始

①**第一次鳩山一郎内閣**（**日本民主党**，1954～55年）

衆議院解散を条件に，左右両社会党の支持を取り付けて組閣した選挙管理内閣。

②**第二次鳩山一郎内閣**（**日本民主党**，1955年）

総選挙の結果，日本民主党が第1党となったが，過半数は割り込んだ。

1955年　**日本社会党の再統一**（委員長＝鈴木茂三郎）

※憲法改正阻止・革新陣営結束を目指し左右両派が再統一。3分の1以上の議席を占める。特に左派は「逆コース」批判が高まる中で党勢を拡大していた。

保守合同により〔1　　　　　　〕が成立（初代総裁＝**鳩山一郎**）

※**自由党**（総裁＝緒方竹虎）と**日本民主党**（総裁＝鳩山一郎）が合同。
与党の自民党が議会の約3分の2を，野党の社会党などが約3分の1を分け合う保守一党優位の「〔2　　　　　　〕」がスタート，1993年まで継続。

③**第三次鳩山一郎内閣**（**自由民主党**，1955～56年）

「自主憲法制定」「再軍備」「自主外交」を政治目標とする。日ソ国交回復を機に総辞職。

1956年　憲法調査会・国防会議の発足

日ソ漁業条約→河野一郎農相

〔3　　　　　　〕→鳩山首相がモスクワで調印

※フルシチョフ政権のブルガーニン首相と国交を回復。
日本に対する賠償請求を放棄，
平和条約締結後の歯舞群島・色丹島の返還を約束。

※ソ連の反対がなくなり〔4　　　　　　〕**加盟**へ。

鳩山一郎

④**石橋湛山内閣**（**自由民主党**，1956～57年）

総裁選挙で幹事長の岸信介を破り総裁・首相となり組閣するが，病のため65日で総辞職した。

2　安保改定

①**第一次〔5　　　　　　〕内閣（自由民主党**，1957 ～ 58 年）→「日米新時代」を唱える

1957 年　国連安全保障理事会の非常任理事国に初当選

②**第二次岸信介内閣（自由民主党**，1958 ～ 60 年）→藤山愛一郎外相

1958 年　警察官職務執行法〔警職法〕改正案→審議未了・廃案に

勤務評定反対闘争〔勤評闘争〕の激化→日本教職員組合〔日教組〕が激しく抵抗

1959 年　**安保改定阻止国民会議**の結成

※日本社会党・総評を中心に共産党も参加，革新勢力総出の反対闘争を展開。

皇太子明仁（現在の上皇）が正田美智子（現在の上皇后）と結婚

三井三池炭鉱争議の開始（～ 60 年）→“総資本対総労働の対決”

1960 年　日米相互協力及び安全保障条約〔新安保条約〕→岸首相がワシントンで調印

・**アメリカの日本防衛義務を明記**→防衛範囲を極東にまで拡大

・在日米軍の重大行動に関する**事前協議制**の確認→実施例なし

・日本及び在日米軍基地への攻撃に対する共同行動→「巻き込まれ論」の発生

・**条約期限は 10 年間**とし〔6　　　　　　〕により継続

※以後どちらかの通告で 1 年以内に条約は失効。

〔7　　　　　　〕**の締結**

※**防衛分担金を廃止**したが，

1978 年以降は「**思いやり予算**」を設定。

岸信介

民主社会党（のち民社党）の成立→社会党から右派が分裂

岸内閣が新安保の批准を**衆議院で強行採決**

※「安保改定阻止」に加え，「民主主義擁護・岸内閣打倒」をスローガンとする労働者･学生･市民らの大規模な運動が巻き起こり，連日デモが国会を包囲。労働者の全国的ストなども繰り返された（＝**60 年安保闘争**）。

ハガチー事件により**アイゼンハワー大統領の訪日中止**

全学連〔全日本学生自治会総連合〕の国会乱入で東大生樺美智子が死亡

新安保批准は**参議院で承認を得ないまま自然成立**

※条約の発効を見届け，岸内閣は総辞職した。

まとめ　1955 年，自由党と日本民主党が合同し，自由民主党が成立した。
終戦から 15 年しか経っておらず「60 年安保」は切実な問題だった。

Chapter 2　保守政権の継続

目標
池田内閣・佐藤内閣の共通点について知ろう。
ベトナム戦争中の沖縄の人々の苦しい立場について知ろう。

1　池田勇人内閣

①**第一次池田勇人内閣**（**自由民主党**，1960 年）

革新勢力との対立を避け「寛容と忍耐」「政経分離」を唱え，
「政治の季節から経済の季節へ」移行。初の女性閣僚として中山マサを厚生大臣に登用した。

1960 年　社会党委員長浅沼稲次郎暗殺事件

②**第二次池田勇人内閣**（**自由民主党**，1960 ～ 63 年）→「**所得倍増**」がスローガン

池田勇人

1960 年　「**国民所得倍増計画**」発表

1961 年　〔1　　　　　　　　〕

※農業の近代化と構造改善を図り一応の成果を得たが，
専業農家は大幅に減少，兼業農家も「三ちゃん農業」化した。

1962 年　第一次**全国総合開発計画〔全総〕**の決定

※ 15 か所の新産業都市，６か所の工業整備特別地域を指定し，産業と人口の
太平洋ベルト内大都市への集中を緩和し，地域間格差を是正しようとした。

日中準政府間貿易〔ＬＴ貿易〕の開始

③**第三次池田勇人内閣**（**自由民主党**，1963 ～ 64 年）

1964 年　**東海道新幹線**（東京～新大阪間）開通

夏季オリンピック・パラリンピック東京大会開催→アジア初の五輪

2　佐藤栄作内閣

佐藤栄作

①**第一次佐藤栄作内閣**（自由民主党，1964～67 年）→「社会開発」がスローガン

1964 年　〔2　　　　　　〕の結成→新興宗教団体の**創価学会**による

1965 年　〔3　　　　　　　　　　〕本格化（～ 75 年）

→アメリカは**北爆**を行うも敗れる

※佐藤内閣はアメリカのアジア政策に協力し，韓国・台湾・南ベトナムとの
結合・連携を強化。ベ平連〔ベトナムに平和を！市民連合〕結成など
反戦運動が展開され，B52 の出撃基地となった沖縄の**祖国復帰運動**も高まる。

〔4　　　　　　　　　　〕→**朴正熙**大統領（両国ともに強行採決）

※東京で調印。日本は大韓民国を「朝鮮にある唯一の合法的な政府」と確認。

名神高速道路の全通→モータリゼーションの象徴

②**第二次佐藤栄作内閣**（自由民主党，1967 ～ 70 年）

1967 年　〔5　　　　　　　　　　〕「**持たず，作らず，持ち込ませず**」

東京都知事に革新系の美濃部亮吉が当選→ほかにも「革新自治体」が誕生。

※公害の規制や社会福祉政策で一定の成果を上げる。

1968 年　米原子力空母エンタープライズが長崎県佐世保に寄港

※従来の革新政党を批判する新左翼を中心に，激しい反対運動が展開される。

小笠原諸島返還

GNP〔国民総生産〕が自由世界第 2 位となる

大学紛争〔学園紛争〕が盛んになる→全共闘〔全学共闘会議〕運動

1969 年　**佐藤・ニクソン会談**→沖縄の「**核抜き・本土並み**・72 年返還」を約束

③**第三次佐藤栄作内閣**（**自由民主党**，1970 ～ 72 年）

1970 年　〔6　　　　〕で**日本万国博覧会**開催

日米新安保条約の自動延長→ 70 年安保闘争

1971 年　〔7　　　　　　　　　　〕の調印

中華人民共和国が国際連合に加盟→台湾の中華民国は国連代表権を失う

アメリカ大統領**ニクソンが北京訪問計画発表**〔ニクソン＝ショック〕

※キッシンジャー大統領補佐官が訪中。

〔8　　　　　　　　　　　　　〕

※金・ドル交換停止，10％の臨時輸入課徴金賦課などの「新経済政策」を発表。

※**スミソニアン会議**で，**1 ドル ＝ 308 円**への円切り上げが決定。

1972 年　**冬季オリンピック札幌大会**開催

ニクソン大統領が中国を訪問

沖縄返還協定の発効（5 月 15 日）

※米軍専用施設のほとんどが復帰後も存続し，県民の不満と不安は残った。その面積は沖縄県総面積の約 8 %，全国の専用施設面積の約 70％に達していた。

まとめ　池田内閣・佐藤内閣ともに憲法改正を争点とせず，野党との対立を避けた。
太平洋戦争中に犠牲となった沖縄は，ベトナム戦争で出撃基地となった。

第21講　PART2　確認問題

1　1955年に再統一された政党はどれか。

①　日本共産党　②　日本社会党
③　日本民主党　④　日本進歩党

2　日ソ共同宣言で，平和条約締結後に日本へ返還することでソ連が合意した場所はどれか。

①　歯舞群島・国後島　②　歯舞群島・色丹島
③　南樺太・国後島　④　南樺太・色丹島

3　1956年に第三次鳩山一郎内閣に代わって組閣した首相はだれか。

①　岸信介　②　池田勇人
③　田中角栄　④　石橋湛山

4　1960年にアメリカとの間で締結した，防衛分担金廃止を盛り込んだ取り決めはどれか。

①　日米地位協定　②　日米相互協力及び安全保障条約
③　日米行政協定　④　日米相互防衛援助協定

5　高度経済成長政策の推進を図った池田勇人内閣のスローガンはどれか。

①　自主外交　②　憲法改正
③　社会開発　④　所得倍増

6 第一次佐藤栄作内閣が行ったのはどれか。

① 日韓基本条約調印　② 日中準政府間貿易開始
③ 農業基本法成立　④ 第一次全国総合開発計画決定

7 1971 年，北京訪問計画を発表したアメリカ大統領はだれか。

① ケネディ　② アイゼンハワー
③ ニクソン　④ キッシンジャー

8 スミソニアン会議で，円は 1 ドル何円に切り上げることが決定されたか。

① 288 円　② 308 円
③ 328 円　④ 348 円

第 21 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：② 憲法改正阻止・革新陣営結束を目指して左右両派が再統一した。③の日本民主党は，1955 年に自由党と合同して**自由民主党**となった。

2 解答：② **鳩山一郎**首相が，フルシチョフ政権のブルガーニン首相と合意した。

3 解答：④ **石橋湛山**は総裁選挙で幹事長の岸信介を破り総裁・首相となって組閣するが，病のため 65 日で総辞職した。

4 解答：① ②の**日米相互協力及び安全保障条約〔新安保条約〕**には，アメリカの日本防衛義務を明記した。

5 解答：④ ③の社会開発は**第一次佐藤栄作内閣**のスローガン。

6 解答：① ②の**日中準政府間貿易〔LT貿易〕**開始，③の**農業基本法**の成立，④の第一次**全国総合開発計画〔全総〕**決定は，第二次池田勇人内閣のとき。

7 解答：③ ④のキッシンジャーは大統領補佐官で，訪中した。

8 解答：② **ドル＝ショック**後，1 ドル＝ 360 円から，1 ドル＝ 308 円へと切り上げられた。